

平成 29 年度自然史学会連合講演会

瀬戸内海

2017 8.19 (土)

の 自然史

大美 博昭 (大阪府立環境農林水産総合研究所)




イカナゴ
～瀬戸内に春を告げる魚～

藍袋 寛盛 (水産教育・研究機構 瀬戸内海区水産研究所)



藻場がつくる
海のにぎわい
～ダイナミックな瀬戸内海に
生きる海藻たち～

坂井 陽一 (広島大学大学院生物圏科学研究科)



性転換する
瀬戸内海の魚たち

加藤 真 (京都大学大学院人間・環境学研究科)



瀬戸内海の干潟と
砂堆の生物多様性

講演会
13:00～16:10

参加
無料
ただし博物館入館料が
必要です

鶴田 順一 (国立科学博物館 分子生物多様性研究資料センター)



アキラマイマイと
シメクチマイマイ
～カタツムリの分布に見る
1000年前の海岸線～

体験教室
11:00～17:00

- ・日本貝類学会
- ・日本鱗翅学会
- ・日本人類学会
- ・日本霊長類学会

出展
団体

その他、自然史に関連する学術団体が出展します。



会場：大阪市立自然史博物館

地下鉄御堂筋線「長居」3号出口・東へ約800m / JR阪和線「長居」東出口・東へ約1000m

主催：自然史学会連合・大阪市立自然史博物館

協力：船の科学館「海の学びミュージアムサポート」

[おおさかしぜんし](#) [検索](#)

海の学びミュージアムサポート

Supported by  THE NIPPON FOUNDATION